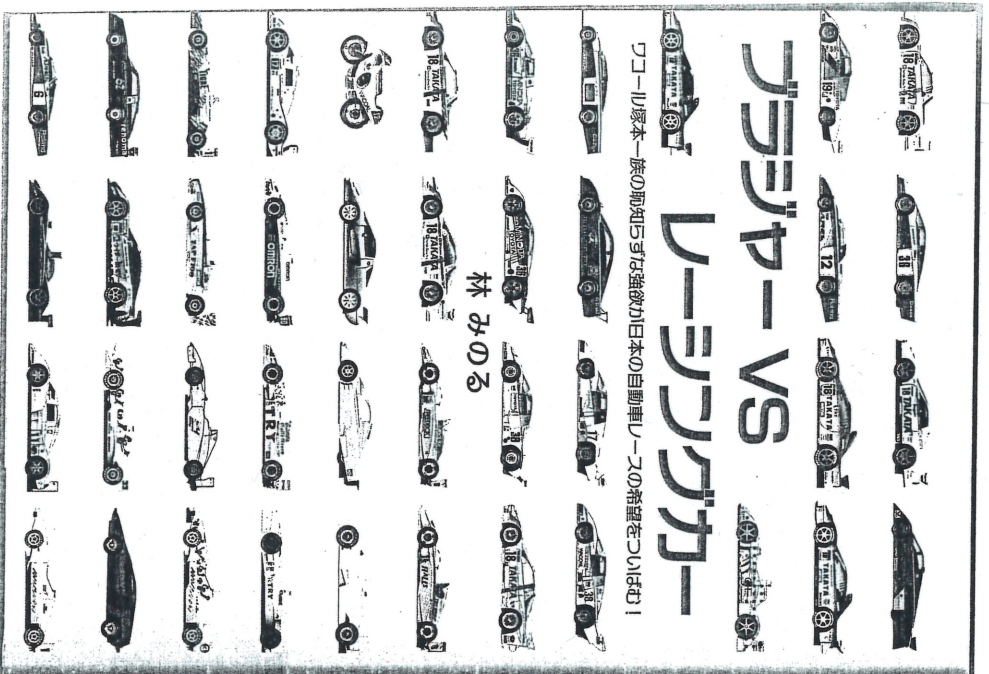


ブラジヤ－VS レーシングカー

林みのる(元「童夢」社長)著 46判上製272P
定価1500円+税 1月 5日発売 第三書館刊

ワコールに10億円を盗られた男の悲痛な叫びは、届かなかつた。
裁判所を手先に使う、驚くべき弁護士・詐欺集団の実態に迫る。



ブラジヤ－VS レーシングカー

ワコール塚本一彦の知らず知らずの強欲が日本の自動車レースの希望をついはわ!

林みのる

京都の経済界の雄・ワコールと、
京都ならではの個性的レーシ
ングカー製作メーカー・童夢。
両社の社長は半世紀前には寝
食を共にした仲であり、ひとり
が他方の3回の結婚式に、司会
として、媒酌人として、そして
花嫁の実兄として立ち会った。
いま、二人は数十億円の資産を
巡る法廷闘争の渦中であり、同
時に故ワコール創業者の相続
対策という名の脱税疑惑(加山
又造作品が1000万⇒260万に
評価減)等がささやかれている。
ここに一方の主張が揃い、いま
他方の反応が、待たれている。

帳合

第三書館 FAX03-3208-6623

ブラジヤ－VS レーシングカー

冊

ISBN978-4-8074-1888-6

定価 1500円+税